

J-クレジット制度
プロジェクト計画書
（森林管理プロジェクト用）

鳥取県東部地区における森林吸収プロジェクト

| | |
|----------------|---------------------|
| プロジェクト 実施者名 | 鳥取県東部森林組合 代表理事 初田 勲 |
|----------------|---------------------|

妥当性確認申請日 平成 27 年 1 月 9 日

プロジェクト登録申請日 平成 27 年 2 月 23 日

1 プロジェクト実施者の情報

1.1 プロジェクト実施者（複数のプロジェクト実施者がある場合は代表実施者）

| | |
|------|-----------------------------|
| 実施者名 | (フリガナ) トトリケントウブ シリンクマイ |
| | 鳥取県東部森林組合 |
| 住所 | 680-0947 鳥取県鳥取市湖山町西 1-328-2 |

1.2 プロジェクト代表実施者以外のプロジェクト実施者 ※1

| | |
|------|--------|
| 実施者名 | (フリガナ) |
| | |
| 住所 | |

※1 複数のプロジェクト実施者が参加する場合には、欄をコピーしてそれぞれのプロジェクト実施者の情報を記載すること。

1.3 J-クレジット保有者 ※1

| | |
|------|-----------------------------|
| 保有者名 | (フリガナ) トトリケントウブ シリンクマイ |
| | 鳥取県東部森林組合 |
| 住所 | 680-0947 鳥取県鳥取市湖山町西 1-328-2 |

※1 J-クレジット保有者が決まっている場合は記入すること。

※ 以下、複数のプロジェクトをまとめて申請する場合は、2～4の内容を方法論ごと・実施場所ごとに記載すること。

2 プロジェクト概要

2.1 プロジェクトの目的及び概要

| | | |
|------------|--|--------------------|
| プロジェクト名 | 鳥取県東部地区における森林吸収プロジェクト | |
| 目的 | 森林施業計画・森林経営計画に基づき、森林整備を進めてきた。平成25年以降も計画的に森林の整備を行う事で、間伐と保育により吸収源対策を促進するのが目的である。 | |
| 概要 | 森林経営計画に基づく平成25年度から平成30年度の間の間伐及び保育事業を実施し、さらに森林経営計画の更新によって継続して施業を実施することによる森林吸収量をクレジット化するものである。 | |
| プロジェクト実施場所 | 市町村 | 岩美郡岩美町・鳥取市国府町 |
| | 場所 ※1 | 59 林班・80 林班・375 林班 |

※1 「○林班～○林班」、「○○事業区」等と記載するとともに、森林計画図等の図面を添付する。

2.2 プロジェクト実施前後の状況

(プロジェクト実施前のプロジェクト実施地の状況※1)：
森林の現況 (人工林)

| | | 面積 (ha) | | | | |
|----|----|---------|-------|-------|--------|-------|
| | | アカマツ | スギ | ヒノキ | その他広葉樹 | 総計 |
| 1 | 齢級 | | | | 0.25 | 0.25 |
| 2 | 齢級 | | | 0.89 | | 0.89 |
| 3 | 齢級 | | | | | 0 |
| 4 | 齢級 | | | 0.31 | | 0.31 |
| 5 | 齢級 | | 0.56 | 2.39 | | 2.95 |
| 6 | 齢級 | | 0.86 | 1.77 | | 2.63 |
| 7 | 齢級 | | 3.8 | 3.82 | | 7.62 |
| 8 | 齢級 | 0.06 | 4.68 | 3.01 | | 7.75 |
| 9 | 齢級 | 1.94 | 3.23 | 0.2 | | 5.37 |
| 10 | 齢級 | 4.03 | 2.34 | 0.16 | | 6.53 |
| 11 | 齢級 | | 0.63 | | | 0.63 |
| 12 | 齢級 | | 3.02 | 0.06 | | 3.08 |
| 13 | 齢級 | 0.08 | 1.66 | | | 1.74 |
| 14 | 齢級 | | | | | 0 |
| 15 | 齢級 | | | 0.05 | | 0.05 |
| 16 | 齢級 | | 0.41 | 0.29 | | 0.7 |
| 17 | 齢級 | | 0.03 | | | 0.03 |
| 18 | 齢級 | | | | | 0 |
| 19 | 齢級 | | | | | 0 |
| 総計 | | 6.11 | 21.22 | 12.95 | 0.25 | 40.53 |

森林の現況（天然林）

面積 (ha)

| | | アカマツ | 竹林 | その他広葉樹 | 未立木 | 総計 |
|----|----|------|------|--------|-----|-------|
| | | | | | 1.6 | 1.6 |
| 3 | 齡級 | | 0.14 | | | 0.14 |
| 4 | 齡級 | | | 0.25 | | 0.25 |
| 5 | 齡級 | | | 1.37 | | 1.37 |
| 6 | 齡級 | | | 0.8 | | 0.8 |
| 7 | 齡級 | | | 0.23 | | 0.23 |
| 8 | 齡級 | | | 1.4 | | 1.4 |
| 9 | 齡級 | | | 0.16 | | 0.16 |
| 10 | 齡級 | | | 5.79 | | 5.79 |
| 11 | 齡級 | 1.03 | | 5.52 | | 6.55 |
| 12 | 齡級 | 0.88 | | 11.18 | | 12.06 |
| 13 | 齡級 | | | 4.95 | | 4.95 |
| 14 | 齡級 | 0.21 | | 10.85 | | 11.06 |
| 15 | 齡級 | | | 0.75 | | 0.75 |
| 16 | 齡級 | | | 0.36 | | 0.36 |
| 17 | 齡級 | | | | | 0 |
| 18 | 齡級 | 2.98 | | | | 2.98 |
| 19 | 齡級 | 0.28 | | | | 0.28 |
| 総計 | | 5.38 | 0.14 | 43.61 | 1.6 | 50.73 |

間伐対象地の現況

| | | 面積 (ha) |
|----|----|---------|
| | | スギ |
| 1 | 齡級 | |
| 2 | 齡級 | |
| 3 | 齡級 | |
| 4 | 齡級 | |
| 5 | 齡級 | 0.56 |
| 6 | 齡級 | 0.86 |
| 7 | 齡級 | 3.8 |
| 8 | 齡級 | 4.68 |
| 9 | 齡級 | 3.23 |
| 10 | 齡級 | 2.34 |
| 11 | 齡級 | 0.63 |
| 12 | 齡級 | 3.02 |
| 13 | 齡級 | 1.66 |
| 14 | 齡級 | |
| 15 | 齡級 | |
| 16 | 齡級 | 0.41 |
| 17 | 齡級 | 0.03 |
| 総計 | | 21.22 |

| | | 蓄積 (m³) |
|----|----|---------|
| | | スギ |
| 1 | 齡級 | |
| 2 | 齡級 | |
| 3 | 齡級 | |
| 4 | 齡級 | |
| 5 | 齡級 | 109.37 |
| 6 | 齡級 | 119.11 |
| 7 | 齡級 | 977.91 |
| 8 | 齡級 | 1335.84 |
| 9 | 齡級 | 1176.37 |
| 10 | 齡級 | 928.47 |
| 11 | 齡級 | 263.04 |
| 12 | 齡級 | 1135.68 |
| 13 | 齡級 | 698.64 |
| 14 | 齡級 | |
| 15 | 齡級 | |
| 16 | 齡級 | 148.07 |
| 17 | 齡級 | 45.1 |
| 総計 | | 6937.6 |

| | | 面積 (ha) |
|----|----|---------|
| | | ヒノキ |
| 1 | 齡級 | |
| 2 | 齡級 | 0.89 |
| 3 | 齡級 | |
| 4 | 齡級 | 0.31 |
| 5 | 齡級 | 2.39 |
| 6 | 齡級 | 1.77 |
| 7 | 齡級 | 3.82 |
| 8 | 齡級 | 3.01 |
| 9 | 齡級 | 0.2 |
| 10 | 齡級 | 0.16 |
| 11 | 齡級 | |
| 12 | 齡級 | 0.06 |
| 13 | 齡級 | |
| 14 | 齡級 | |
| 15 | 齡級 | 0.05 |
| 16 | 齡級 | 0.29 |
| 17 | 齡級 | |
| 総計 | | 12.95 |

| | | 蓄積 (m³) |
|----|----|---------|
| | | ヒノキ |
| 1 | 齡級 | |
| 2 | 齡級 | 14.24 |
| 3 | 齡級 | |
| 4 | 齡級 | 28.83 |
| 5 | 齡級 | 382.4 |
| 6 | 齡級 | 261.6 |
| 7 | 齡級 | 678.31 |
| 8 | 齡級 | 777.28 |
| 9 | 齡級 | 55.6 |
| 10 | 齡級 | 46.4 |
| 11 | 齡級 | |
| 12 | 齡級 | 19.5 |
| 13 | 齡級 | |
| 14 | 齡級 | |
| 15 | 齡級 | 18.1 |
| 16 | 齡級 | 107.88 |
| 17 | 齡級 | |
| 総計 | | 2390.14 |

※1 森林の現況、森林タイプ（人工林・天然林等）別、樹種別、齡級別の面積と蓄積等について情報を表などにまとめ説明すること。また、間伐対象林についても同様の表と文章を作成すること。なお、説明には数値を用い、具体的に説明すること。また、林分が多数にわたる場合には、総括表を記載したうえで、森林簿、森林施業計画書又は森林経営計画書から上記情報が含まれている部分の写しを添付しても良い。

（プロジェクト実施後のプロジェクト実施地の状況 ※2）：

- ① 主伐の標準伐期齡は、スギ 40 年、ヒノキ 45 年としているが、それに達した時点で諸条件を勘案し主伐を行うものとしており、森林の生物多様性の保全や、木材の需要及び材価等を考慮し、長伐期施業を実施している。
- ② 間伐間隔は 10 年～15 年とし、定性間伐を繰り返し間伐率 30%～40%で実施する。

※2 対象林において、森林経営計画又は森林施業計画に基づいた施業の方針について、主伐実施時期、間伐実施間隔、植栽樹種、定量／定性間伐の区分、間伐率等の内容を、数値を用いて具体的に説明すること。また、林分が多数にわたる場合には、総括表を記載したうえで、森林簿、森林施業計画書又は森林経営計画書から上記情報が含まれている部分の写しを添付しても良い。

2.3 プロジェクト要件への適合

| | |
|------------------|--|
| プロジェクトの実施日 ※1 | ■平成 25 年 4 月以降に実施されたプロジェクトである □平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月に実施されたプロジェクトであり、オフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録を受けていない ※2 □平成 20 年 4 月～平成 25 年 3 月に実施されたプロジェクトであり、オフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録を受けている ※3 |
| 追加性 | ■追加性を有している ※4 |

※1 「プロジェクトの実施日」とは、森林経営計画又は森林施業計画に基づく適切な施業又は森林の保護（森林の巡視等を含む）を実施した日を指す。

※2 【FO-002（植林活動）について】平成 25 年度中に限り J-クレジット制度のプロジェクトとして登録申請を行うことができる。

※3 【FO-002（植林活動）について】オフセット・クレジット（J-VER）制度から移行したプロジェクトについては、「平成 25 年 4 月以降に実施されたもの」という要件を満たしている必要はない。

※4 【FO-001（森林経営活動）について】追加性評価に関する詳細情報は別紙（A.1）に示すこと。

3 方法論

3.1 適用方法論

| | | |
|---------|-------|-----------------|
| 適用する方法論 | 方法論番号 | FO-001 ver. 2.1 |
| | 方法論名称 | 森林経営活動 |

3.2 方法論の適用条件への適合

| | | |
|---------|----------|---|
| 条件 1 | ■ 適合している | 説明 森林法第 5 条に定める森林で実施される |
| 条件 2 ※1 | ■ 適合している | 説明 59 林班 (第 201212249 号 岩美 24-5) 平成 25 年 3 月 28 日～平成 30 年 3 月 27 日 80 林班 (第 201212119 号 岩美 24-3) 平成 25 年 3 月 12 日～平成 30 年 3 月 11 日 375 林班 (受国支産第 21 号 25-3) 平成 25 年 5 月 20 日～平成 30 年 5 月 19 日 |
| 条件 3 ※2 | ■ 適合している | 説明 認証対象期間における吸収量は正である。認証対象期間に主伐は計画されていない |
| 条件 4 | ■ 適合している | 説明 森林経営計画において間伐及び保育が計画されている。 |
| 条件 5 | ■ 適合している | 説明 プロジェクト実施地の土地転用は計画されていない。 |

※1 【FO-001 (森林経営活動) について】 算定対象とする施業が含まれる全ての森林経営計画又は森林施業計画の認定番号及びその認定期間を記載すること。

※2 【FO-002 (植林活動) について】 算定対象とする施業が含まれる全ての森林経営計画又は森林施業計画の認定番号及びその認定期間を記載すること。計画が認定されていない場合は、モニタリング報告書に記載すること。

3.3 モニタリング・算定方法

| プロジェクト実施後吸収量 | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 主要/ 付随的 | 吸収活動 | 温室効果ガスの種類 |
| 主要 | 地上部バイオマス吸収量 | CO2 |
| 主要 | 地上部バイオマス吸収量 | CO2 |

| プロジェクト実施後排出量 | | |
|--------------|------|-----------|
| 主要/ 付随的 | 排出活動 | 温室効果ガスの種類 |
| 主要 | 該当なし | CO2 |
| 主要 | 該当なし | CO2 |

4 吸収計画

| | | | | | |
|--------------|--|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 認証対象期間 ※1 | 平成 26 年 4 月 1 日 ～平成 33 年 3 月 31 日 (7 年 0 ヶ月) | | | | |
| 吸収計画※2 | 年度 | ベースライン 吸収量 | プロジェクト 実施後吸収量 | プロジェクト 実施後排出量 | 吸収量 |
| | 平成 25 年度 | 0 t-CO2 | 0 t-CO2 | 0 t-CO2 | 0 t-CO2 |
| | 平成 26 年度 | 0 t-CO2 | 126.6 t-CO2 | 0 t-CO2 | 126 t-CO2 |
| | 平成 27 年度 | 0 t-CO2 | 180.4 t-CO2 | 0 t-CO2 | 180 t-CO2 |
| | 平成 28 年度 | 0 t-CO2 | 138.1 t-CO2 | 0 t-CO2 | 138 t-CO2 |
| | 平成 29 年度 | 0 t-CO2 | 137.4 t-CO2 | 0 t-CO2 | 137 t-CO2 |
| | 平成 30 年度 | 0 t-CO2 | 132.7 t-CO2 | 0 t-CO2 | 132 t-CO2 |
| | 平成 31 年度 | 0 t-CO2 | 116.4 t-CO2 | 0 t-CO2 | 116 t-CO2 |
| | 平成 32 年度 | 0 t-CO2 | 110.0 t-CO2 | 0 t-CO2 | 110 t-CO2 |
| | 合計 | 0 t-CO2 | 941.6 t-CO2 | 0 t-CO2 | 939 t-CO2 |

※1 認証対象期間は、プロジェクト開始日の含まれる年度の開始日から平成 33 年 3 月 31 日までの間で設定すること。

※2 吸収量の算定方法については、別紙 A.2 に記載すること。

データ管理

データの品質を確保するための仕組みとして、データ収集・集計等体制の整備と個別データの信頼性の向上について以下に記載する。詳細については、J-クレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）「2.4」を参照のこと。

4.1 モニタリング体制

| | |
|--------------|----------|
| データ管理責任者 ※1 | 森林整備課 課長 |
| モニタリング担当者 ※1 | 森林整備課 係長 |

※1 担当者の組織、役職名を記載すること（個人名は不要）。原則として、それぞれ別の担当者をおくこと。

4.2 モニタリングデータの収集・記録・保管

| | |
|--------------------------|---|
| モニタリングデータの収集・記録・保管の手続 ※1 | <p>(1) 測定機器の維持・管理 測定機器の維持・管理は測量、プロット調査実施者がそれぞれ機器の取り扱い説明書に基づいて使用前に実施する。また、使用する際には使用記録簿に記入し使用する。</p> <p>(2) データの確認 測量データ及び吸収量算定の確認はモニタリング担当者が確認し、更にデータ管理責任者が実施する。</p> <p>(3) 情報管理 記録の保管はモニタリング担当者及びデータ管理責任者で行うものとし、純吸収量を算定するために使用した野帳等、全てのデータを一定期間保存する。</p> <p>(4) 監査 体制が効率よく機能しているかを確認し、データのモニタリング及び収集、純吸収量の算定、報告等の一連の報告プロセスの信頼性の維持・向上を図る。総務課 課長 がモニタリング時に実施する。</p> <p>(5) 巡視・環境保護 月に1回又は多量の降雨・降雪後に巡視を行う。また、間伐・保育事業等を行う際は携帯灰皿を携帯し、火災・環境保護に努める。</p> |
| データ保存期間 ※2 | 認証対象期間終了後 <u>10</u> 年間 |

※1 認証対象期間において複数の担当者がモニタリングを行う場合には、全ての担当者が適切にモニタリングデータの収集・記録・管理を行うための仕組みも併せて記載すること。その際、森林管理のための巡視を行う体制を明記すること（森林の巡視とは、一般的に、森林の保全管理及び森林の産物の盗採、林野火災等の森林被害の防止及び発見のために、定期的及び必要に応じ森林において行うもの）。

※2 原則認証対象期間終了後10年間とする。

特記事項

4.3 吸収量に影響を与える可能性のあるリスクの特定について ※1

| |
|---|
| 吸収量に影響を与える可能性のあるリスクがあるか <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
|---|

※1 プロジェクト排出量が増加し、プロジェクト吸収量を上回る可能性のあるリスクも含む。リスクの例は、記載例を参照

(「有」にチェックした場合に記入)

| 項目 | 概要 |
|-------|--|
| リスク要因 | 自然災害（暴風による風倒等）や病虫害のリスクが存在する。日ごろの巡視により、早期発見に努め、迅速に対応する。 人的ミスによる吸収量の誤りが存在する。人的リスクについては、発見次第直ちに修正する。 |

4.4 ダブルカウントの防止措置について

| |
|--|
| 類似制度へプロジェクトを登録しているか。 <input type="checkbox"/> 登録している (類似制度名： _____) 類似制度での認証予定期間： _____) <input checked="" type="checkbox"/> 登録していない |
|--|

4.5 法令等の義務の有無について

| |
|---|
| プロジェクトの実施は、法令等の義務履行によるものではないか。 <input type="checkbox"/> 法令等の義務履行によるものではない。 <input checked="" type="checkbox"/> 法令等の義務履行によるものである。(森林法) |
|---|

6.4 認証対象期間の設定について

| |
|--|
| 認証対象期間の前後の年度に、主伐の実績又は計画はないか。 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合、認証対象期間は、クレジットを過大に発生させる目的で、主伐の時期を意図的に避けて設定していないか。 <input type="checkbox"/> 意図的に避けたものではない (設定の考え方： _____) (例) 森林経営計画の計画期間を認証対象期間としている |
|--|